

特集①) 最近のマーケットピックス
～『23区以外・単身世帯』の購入動向～

P.1～14

■■ 2023年10月:特集レポートダイジェスト ■■

～『単身世帯』の購入実態～ <長谷工アーベスト販売提携物件から>
「サンリヤン花小金井ステーションフロント」
「ルネモア市川北国分」
「オーベル草加谷塚レジデンス」
「ソライエ若葉ステーションヴィラ」
まとめ

特集①) 最近のマーケットピックス
～『23区以外・単身世帯』の購入動向～

長谷工アーベスト販売提携物件にて、最近の新築マンション購入者※の家族数の傾向をみると、新型コロナウイルス感染拡大以降(2020年)『1人家族:単身世帯』の購入が緩やかながら増加。
直近の2023年下半期については、更にその傾向が進み、購入者の17%まで拡大している。
本レポートでは、そうした『単身世帯』の動向について、単身世帯の購入が多い物件を中心に、年齢構成や男女比率、購入物件の商品性(面積×価格)、検討・購入理由などを確認。
増加の兆しがみられる『単身世帯』の実態についてまとめました。

特集②) 首都圏版:お客様意識調査(2023年10月調査)

P.1～13

【1】 定点項目の結果ダイジェスト

景気・金利・マンション価格動向・住宅の買い時感

【TOPICS: I】 「住宅ローン控除」上限額引下げの認知度・影響について

【TOPICS: II】 「ZEH」住宅の認知度・購入意向について

◆首都圏の『ZEHマンション(分譲)』の状況
『ZEH』住宅の認知度・関心度・魅力のポイント・購入意向

【まとめ】

特集②) 首都圏版:お客様意識調査 (2023年10月調査)
～「住宅ローン控除」上限額引下げの影響、「ZEH」住宅についての意識等～

2023年10月調査では、“円安や物価高の影響”を懸念する声が続くほか、“中東ほか世界情勢による先行き”を懸念する声が増加し、景況感が低下。

金利・マンション価格については、先高感が強く、“金利・価格が上がる前に購入したい”との意識は継続。“今後は税制メリットが縮小する”等の市場背景もあり、買い時感は堅調水準を維持する結果となった。

本レポートでは、定点項目に加え、以下【TOPICS】について確認、今後の動向について考えました。

【TOPICS】

- ①「住宅ローン控除」適用上限額の引下げについて
 - ・認知度、購入検討への影響
- ②「ZEH」住宅について
 - ・認知度、関心、魅力のポイント、今後の購入意向等

～次号(2023年11月)の予定～

◆特集レポート

- ・(仮)2023年首都圏新築マンション市場まとめ
- ・(仮)住宅需要調査